



RPA HOLDINGS

2024年2月期 第2四半期 決算説明資料

RPAホールディングス株式会社
(東証プライム：6572)
2023年10月13日

■事業概要・戦略

RPAホールディングスの目指すもの

当社グループは、「知恵とテクノロジーで新規事業を創造し、
個性が輝く楽しい時代に進化する」を経営理念として掲げ、

創業時より新規事業創造を通じた豊かな社会の実現に向けて取り組んできました。

仮想的労働者（Digital Labor）を活用した新規事業創造に取り組み、

少子高齢化、労働力人口の急激な減少という社会的課題の解決を目指して事業を展開しています。

ロボットアウトソーシング事業の概要と戦略

- ロボットアウトソーシング事業は、日本が直面する類を見ない人手不足が見込まれる状況において、次世代型の労働力とされるデジタルレイバーを提供し、労働力人口の減少にまつわる社会課題の解決に取り組んでいます。
- 各社固有の業務の自動化については「BizRobo!」を、経理・人事・法務・IT等バックオフィスなどの業種・企業規模を問わない汎用業務の自動化については、「RoboRobo」を提供
- 「BizRobo!」は、現在の活用のおよそ大半であるオンプレミス、レガシーシステムの連携にとどまらず、DXの潮流におけるSaaS、紙帳票等の人・システム・業務間の連携の更なる進展に向けた現場型DXツール、デジタル人材育成の教育ツールとしての進化を推進
- 「RoboRobo」は、「コンプライアンス」に加えて、「リクルーティング」、「ペイロール」等の立ち上げを図り、対象となる業務領域を広げるとともに、ツール提供にとどまらず、オペレーション機能を強化することで、人手不足、コスト削減を契機とした非中核・非競争業務領域におけるBPO化の流れに対応
- 両プロダクトの顧客資産、マーケティング等の連携により、組織・機能の強化を図り、更なる事業の拡大を図る

ロボットアウトソーシング事業：BizRobo!

- 各種システムを利用した日常業務を当社独自のRPA技術をベースに自動化し、企業の生産性を向上。ノンITでも使えるユーザビリティ、充実のサポート体制、企業のニーズに応じた幅広い商品ラインナップが競争力の源泉
- 大手企業での導入から進み、足許では、中堅中小企業での導入が拡大傾向。クラウド化などの潮流を適時、適切に捉え、プロダクトのアップデートを不断に継続

以下の日常業務の全てをRPAをコア技術として自動化



あらゆる企業に共通する以下の課題を解決

単純作業における
人的ミス



慢性的な
人手不足



属人的に
なっている業務



(例) 販売サイトでの商品情報入力業務、請求書の登録・印刷業務、勤怠入力マイナンド業務、月次連結決算業務など

販売パートナー企業一例*



導入企業（2,600社以上）一例

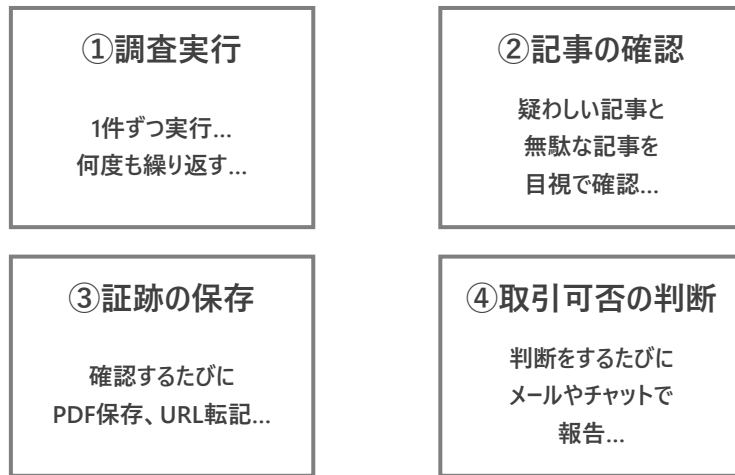


* 当社よりデジタルレイバーを仕入れ、顧客企業に販売

ロボットアウトソーシング事業：RoboRobo

- 法務/総務、採用、人事労務などのあらゆる企業に共通する業務を自動化するクラウドサービス。法務/総務を皮切りに、採用、人事労務などに分野を拡大
- 今後は、クラウドサービスの導入のみならず、これにBPOを組み合わせた、ハイブリッドなアウトソーシングサービスを提供していく方向

従来の反社チェック業務だと、全て手作業・・・



RoboRobo
によりすべてのプロセスを自動化



法務/総務	RoboRobo コンプライアンスチェック	取引先の法令・社会規範への遵守状況を自動でチェックできるサービス
	RoboRobo 与信チェック	取引先の与信データの自動取得を可能とするサービス
採用	RoboRobo リクルーティング	採用ページ作成、求人媒体への一括掲載、応募者管理のオールインワンサービス
	RoboRobo バックグラウンドチェック	採用候補者の過去の経歴、法令遵守状況を自動でチェックできるサービス
人事労務	RoboRobo バイロール	給与計算のアウトソーシングと明細発行・人事マスタ管理を統合したハイブリッドサービス
	RoboRobo 勤怠	入社、退社、休憩のみをシンプルに打刻管理可能なサービス

導入企業（4,000社*以上）一例



*「RoboRoboコンプライアンスチェック」の導入企業数（無料トライアル・有料スポット利用ユーザー含む）

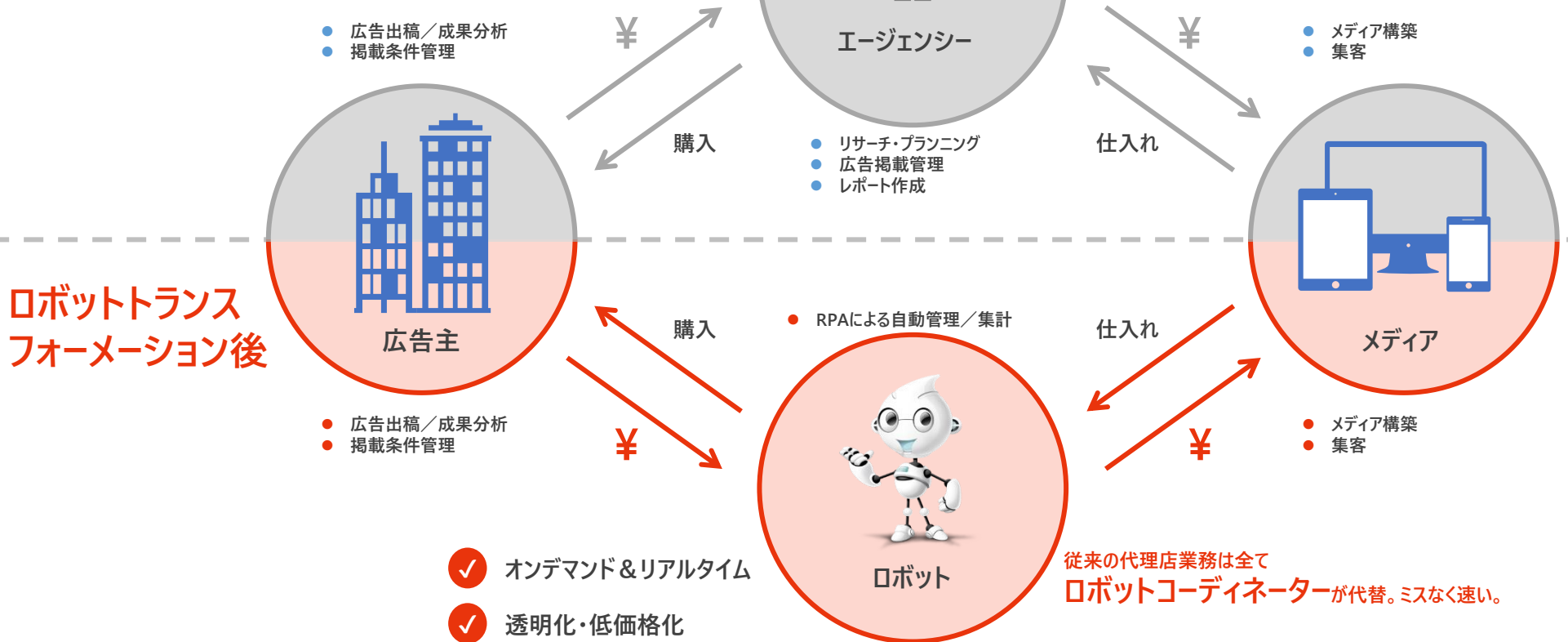
ロボットトランスフォーメーション事業の概要と戦略

- ロボットトランスフォーメーション事業では、これまでも新たなテクノロジーの活用により、様々な産業が進化してきたように、当社の強みであるロボットなどのテクノロジーを活用した事業開発力、方法論により、産業の再定義を図り、事業を展開
- 産業の再定義を実現した事業の第一弾として展開をしているインターネット広告事業については、ロボタイゼーションによる競争優位性を武器に、引き続きシェアの拡大を図るとともに、今後は手数料率の改善をはじめ収益率向上も推進。加えて、将来的には、インターネット広告におけるアフィリエイト以外の領域におけるソリューションの拡充、オフライン広告分野への拡大を含め、広告業界全般の再定義を目指す
- また、産業の再定義による事業展開の第二弾として、「医療×RPA」の実績も豊富な医療業界や、労働集約型の産業、業界再編が進む業界等の他業界においても、ロボットなどのテクノロジーを活用した産業の再定義を図り、ロボタイゼーションによる競争優位性を武器とした事業の展開を進める

ロボットトランスフォーメーション事業：インターネット広告

- ロボットコーディネーターでエージェンシーを代替することによりロボットトランスフォーメーションを実現。全く新しい顧客体験を提供
- これまでの施策によりシェアの拡大に一定の成果。引き続き安定的なシェア拡大を目指しつつも、手数料率の改善を含めた収益性向上のための施策に軸足をシフト。また、アフィリエイト以外の領域、オフラインにおけるソリューションの拡充を目指す

現在のインターネット広告ビジネス



ロボットトランスフォーメーション事業：医療その他分野

- インターネット広告分野のように、労働集約性が高く、非効率なオペレーションが存在する業界を、当社コアテクノロジー、インターネット広告分野におけるトランスフォーメーションで培ったノウハウを活用し、「産業の再定義」を目指す
- 医療業界においては、これまでも様々な業務の自動化・効率化を実現。今後も重点分野として、トランスフォーメーションを目指す

！ 医療業界のいま

超高齢化社会の進行により医療ニーズは増大の一途を辿る一方で、医療・看護・介護業界における労働力人口が伸び悩んでおり、厳しい経営環境に置かれている

当社サービスによる自動化・効率化の対象となる業務

総務/人事業務

経理業務

経営管理業務

医事業務

薬剤部業務

診察共有部業務

患者支援業務

看護部業務

< 当社サービス導入事例 >

東京歯科大学 市川総合病院、名古屋大学医学部付属病院、滋賀医科大学医学部付属病院 等

■ 連結業績

2024年2月期Q2 連結業績

- ロボットアウトソーシング事業、ロボットトランスフォーメーション事業ともに堅調に推移し、営業利益は前年同期比で増益
- 投資有価証券売却、事業譲渡による特別利益を計上

単位：百万円	2023年2月期 Q2	2024年2月期 Q2	前期比
売上高	2,899	2,913	+0.5%
営業利益	43	190	+341.3%
経常利益	△8	49	—
税金等調整前 四半期純利益	△8	349	—
親会社株主に 帰属する四半期純利益	△93	304	—

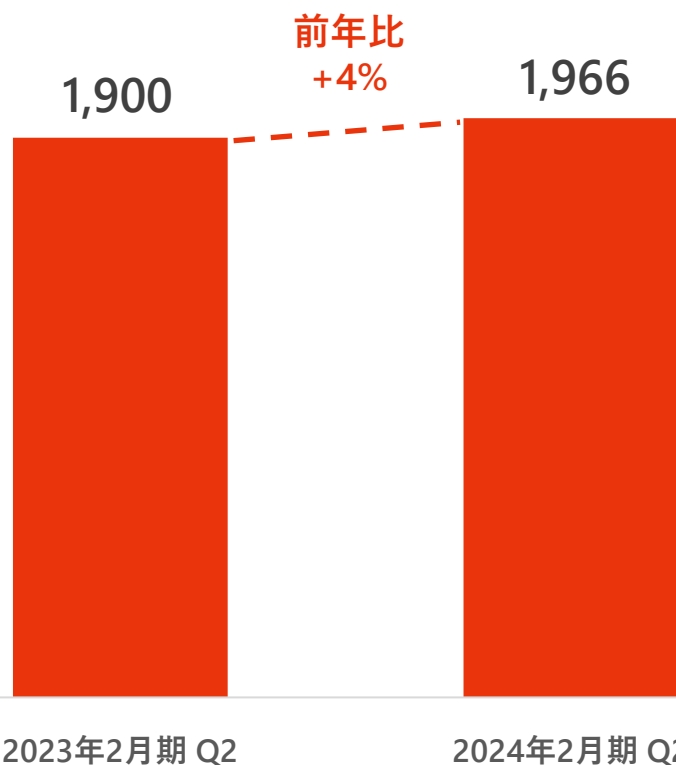
■ ロボットアウトソーシング事業の概況

ロボットアウトソーシング事業ハイライト

- BizRobo!、RoboRoboともに、導入企業が順調に増加し、売上高が堅調に推移
- BizRobo!においては、コストコントロールを強化し、利益率が改善。RoboRoboについては、プロダクト開発を中心とした先行投資を継続

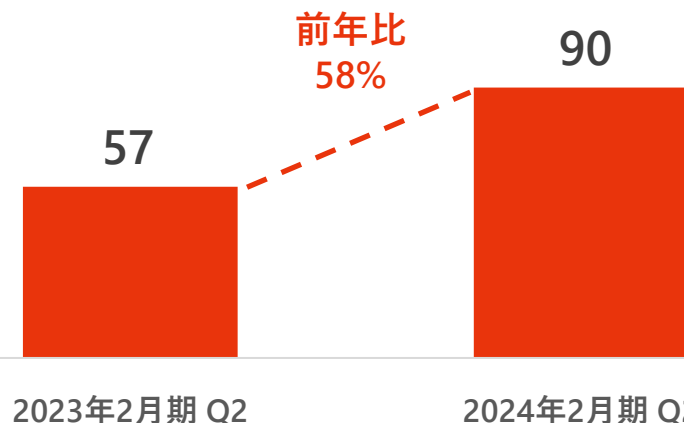
ロボットアウトソーシング事業売上高

単位：百万円



ロボットアウトソーシング事業セグメント利益

単位：百万円

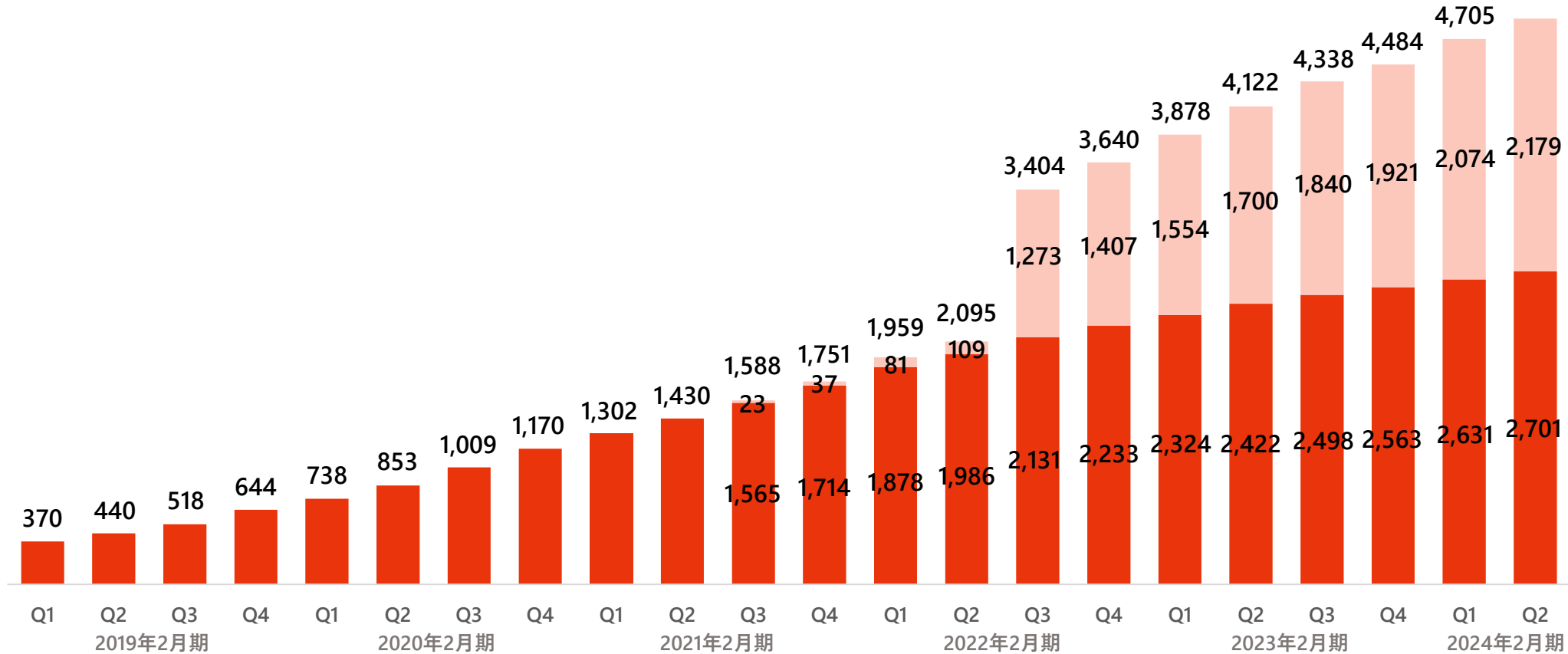


ロボットアウトソーシング事業ハイライト：導入企業数

■ 累計導入企業数は4,880社に拡大

4,880社

■ BizRobo!
■ RoboRobo

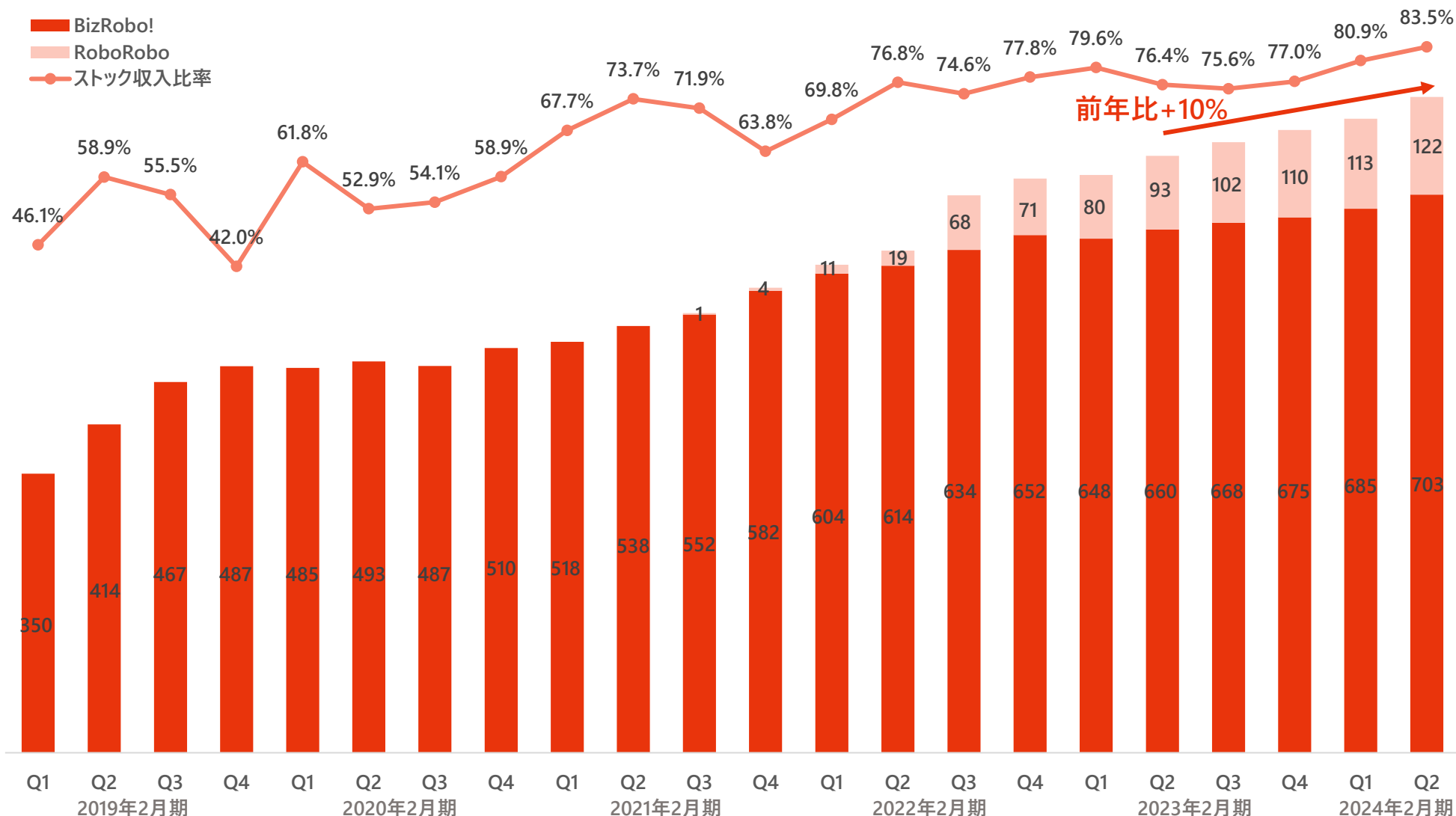


※BizRobo!は、BizRobo!Basic、BizRobo!Lite、BizRobo!miniの導入企業数合計

ロボットアウトソーシング事業ハイライト：ストック収入

単位：百万円

■ 盤石な収益基盤となるストック収入は、前年同期比で+10%。ストック収入比率も高水準を維持



※BizRobo!は、BizRobo!Basic、BizRobo!Lite、BizRobo!miniのストック収入合計

ロボットアウトソーシング事業ハイライト：解約率

- BizRobo!の解約率は、導入企業が増加する中においても低い水準を維持



ロボットアウトソーシング事業ハイライト：トピックス

- BizRobo!新バージョン「Ver11.4」を7月4日提供開始
- 現場とオフィスをつなぐプロセス管理サービス「オペトラ」をリリース
- DX人材の発掘から育成まで伴走支援する研修サービス「DXpass」をリリース
- AsiaVerifyと業務提携「RoboRoboコンプライアンスチェック」にて東南アジア企業（中国・台湾・香港など）との取引時、リスクチェックが可能に
- CData Softwareと業務提携し、「RoboRoboコンプライアンスチェック」の外部連携を強化
- 玉川大学工学部とインターンシップで連携。実社会で役に立つデジタル人材を育成

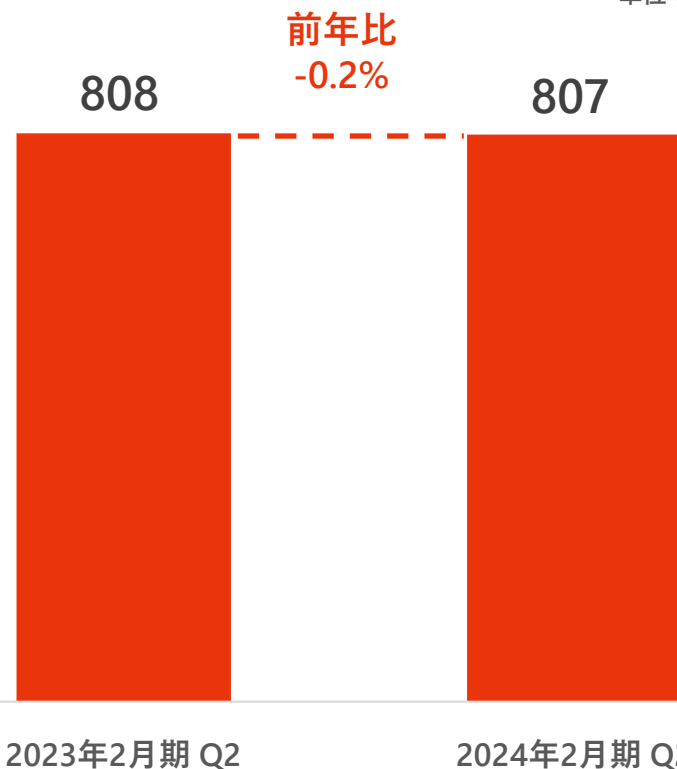
■ ロボットトランスフォーメーション事業の概況

ロボットトランスフォーメーション事業ハイライト

- 取扱いシェア拡大に向けた取り組みが奏功し、人材カテゴリ、及び新規参入分野の取扱高は順調に成長。前期の減収減益要因であったキャンペーン案件、レベニューシェア案件は底打ち。
- シェアを高めたプログラムでは手数料率が一部改善、コストコントロールの強化により利益率も改善し、セグメント利益は前年同期比で増益

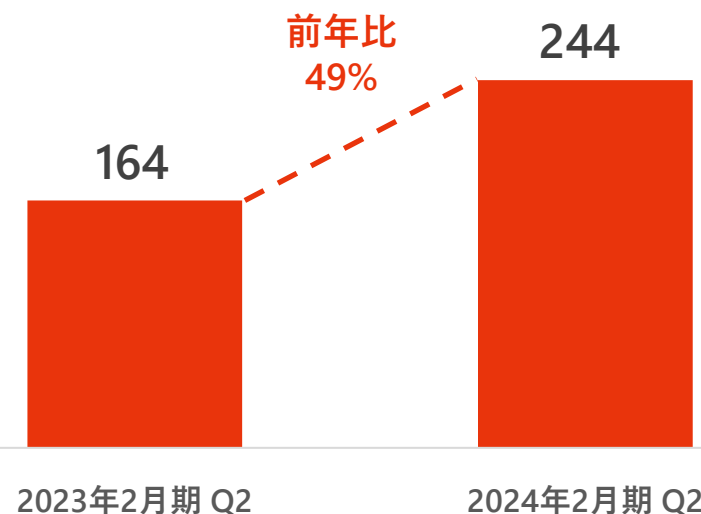
ロボットトランスフォーメーション事業売上高

単位：百万円



ロボットトランスフォーメーション事業セグメント利益

単位：百万円



■ 参考資料

連結PL実績

単位：百万円

	2023年2月期 Q2	2024年2月期 Q2	前期比
売上高	2,899	2,913	+0.5%
ロボットアウトソーシング事業	1,900	1,966	+3.5%
ロボットトランスフォーメーション事業	808	807	△0.2%
その他	190	139	△26.9%
営業利益	43	190	+341.3%
営業利益率	1.5%	6.5%	-
税金等調整前当期純利益	△8	349	-
親会社株主に帰属する当期純利益	△93	304	-
親会社株主に帰属する当期純利益率	-	10.4%	-

セグメント情報（2024/2期 第2四半期）

単位：百万円

	ロボット アウトソーシング 事業	ロボット トランスフォーメーション 事業	合計	その他	調整額	連結
売上高	1,976	832	2,808	140	△35	2,913
外部顧客への売上	1,966	807	2,774	139	-	2,913
セグメント間の内部売上高又は振替高	9	24	34	1	△35	-
セグメント利益	90	244	335	3	△148	190
セグメント利益率	4.6%	29.4%	11.9%	2.5%		6.5%

連結BS増減比較

単位：百万円

	2023年2月期	2024年2月期 Q2末	増減
流動資産	14,078	13,758	△319
現金及び預金	11,213	11,342	128
固定資産	4,389	4,507	118
資産合計	18,467	18,265	△201
流動負債	5,363	5,173	△190
固定負債	1,588	1,249	△338
負債合計	6,952	6,423	△529
(有利子負債)	3,792	3,436	△355
資本金	5,902	5,908	6
資本剰余金	6,038	6,045	6
利益剰余金	31	350	318
自己株式	△499	△494	-
純資産合計	11,514	11,842	327

■ 会社概要

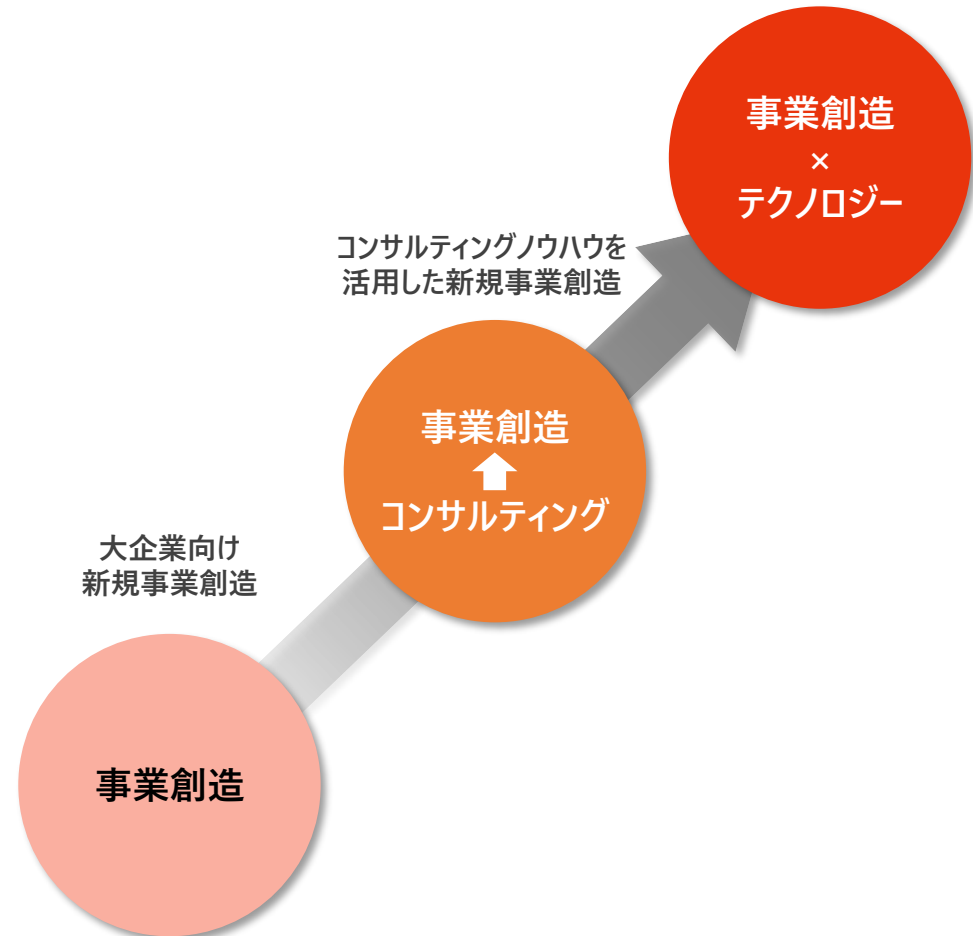
会社概要

社名	RPAホールディングス株式会社 RPA Holdings, Inc. (英訳名)	
設立	2000年4月	
資本金	5,902百万円 (2023年2月末現在)	
所在地	東京都港区虎ノ門1-23-1 虎ノ門ヒルズ 森タワー8F	
役員	代表取締役 取締役 取締役 社外取締役 取締役 (監査等委員) 取締役 (監査等委員) 取締役 (監査等委員) 取締役 (監査等委員)	高橋 知道 大角 暢之 松井 哲史 西木 隆 増田 吉彦 永井 栄一 高橋 秀明 横山 美帆
事業内容	純粋持ち株会社	
グループ会社	RPAテクノロジーズ株式会社 株式会社セグメント オープンアソシエイツ株式会社 リーグル株式会社 株式会社ディレクト	

ミッション

知恵とテクノロジーで新規事業を創造し、
個性が輝く楽しい時代に進化する

テクノロジー=RPAという
武器を活用した事業創造



人とロボットが協調して働く新しい社会を創る ロボットトランスフォーメーションにより産業を再定義する



インターネット以前

FY1998

インターネット
(ブロードバンド)
トランスフォーメーション

証券会社、旅行代理店、
通販、電話 (Skype)、
音楽業界などが再定義

FY2008

モバイル
トランスフォーメーション

ゲーム業界 (特にコンソール)、
カーナビ、タクシー、
ホテル、決済などが再定義

FY2018

AI・ロボット
トランスフォーメーション

RPAとAIによって、プラットフォームから
コーディネートへシフトし、あらゆる産業
が再定義される



デジタルイゼーションへのロングジャーニー

提供価値・行動規範

Ownership & Speed

行動と結果に責任を持ち、
誰にも負けない圧倒的な速さで進化する

社会の公器

私たちは、社会をより良い方向に進化させるべく存在する社会の公器です。すべてのステークホルダーと共に「個性が輝く楽しい時代」を実現します。

一流を目指す

私たちの目指す一流は、常に課題意識を持ち、解決策を考え、自ら仕掛けて行動する先にあります。結果に責任を持ち、周りを巻き込みながら共に成長していくことを目指します。

存分に楽しむ

多様化する個の時代をリードする社会の一員として、個性を発揮し、価値を提供すること、成果を惜しみなく社会に還元することを自らが存分に楽しみ、行います。

チームワークと育成

ビジネスを創造し、スケールアップさせていくなかでは、個人で動くこともあれば、個人の知恵やスキルを結集させ、チームとして動くこともあります。私たちは、個人のパフォーマンスを追求するだけでなく、常にチーム意識を持ってビジネスに取り組んでいく姿勢を持つリーダーの育成も大切であると考えます。

Change=Chance

時代は常に変化し続けます。しかもデジタル情報革命といわれる今の時代、ビジネスを取り巻く環境はさらに速度を上げ、刻一刻と変化を遂げています。ChangeはすなわちChance。個人も同様に、変化を自己成長の好機と捉え、学び、行動し続けなければ生き残ることはできません。「Change=Chance」というポジティブ発想こそが、私たちの価値観であり、経営哲学です。

将来見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

RPA
HOLDINGS